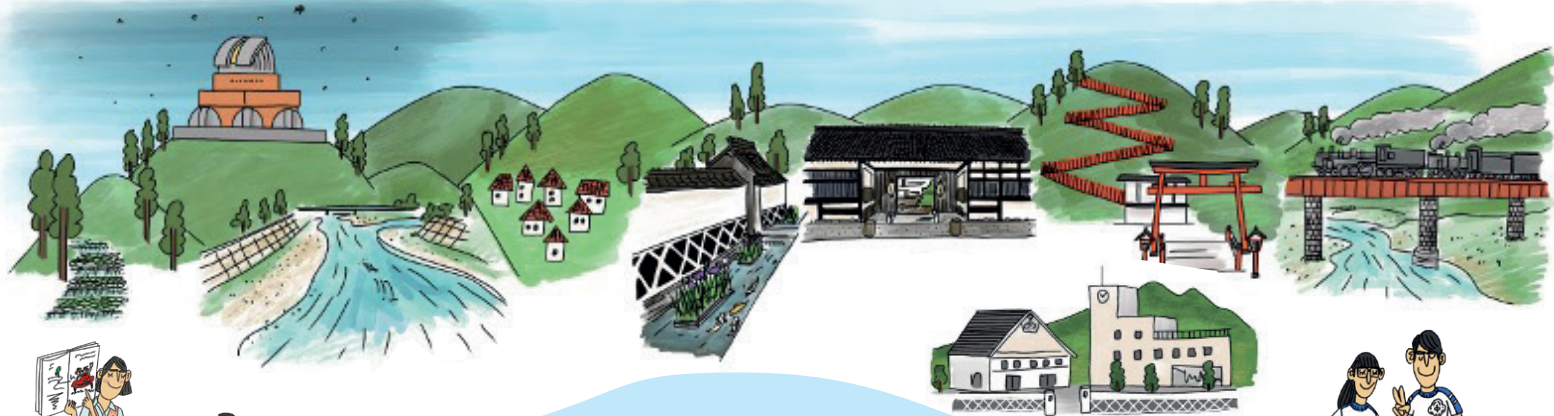




一般財団法人 つわの学びみらい

令和5年度活動報告

つわの学びみらいには、多様な背景や経験、ネットワークを持つメンバーが所属し、教育を軸に「町営英語塾HAN-KOH」「教育魅力化」「まちづくり」の3つの活動を展開しています。

これらの活動を通して、津和野町で成長する子どもたちの
体験・出会い・感動などの「学びの場」を創出しています。

そしてその「学びの場」に関わることが、おとなの学びにつながると考えています。



令和6年度より、「0歳児からのひとづくりプログラム（中学校版）」を 津和野町、各中学校、つわの学びみらいの三者が協働で実施します！

令和6年度の津和野・日原中学校の1年生より、「総合的な学習の時間」を活用して、津和野町、両中学校、つわの学びみらいが協働して両中学校共通のプログラムを実施します。これは津和野町が策定した「0歳児からのひとづくりプログラム」を中学校において体现するもので、中学3年間を通して一貫したプログラムを実施します。三者が協力・協働し、生徒たちが自分自身をよりよく知り、この町の“幸せ”について考えます。本プログラムでは、子どもはもちろん、関わる大人自身も変化や成長を実感できるような仕組みを構築します。



子どもの“人間力”を育てる 学びをつくる

子どもたちがこの世界で自身が望む未来を築くためには、従来の教育現場が重視してきた「認知能力」に加え、心や内面に关わる力である「非認知能力」が重要です。

私たちは、津和野町で学び、成長する子どもたちの非認知能力を育む環境の構築や機会の創出をするべく活動しています。子どもたちにはより視野を広げ、未知の世界へ挑戦できるよう支援を行います。そして、子どもたちのそのような姿を町民の皆さんにもご覧いただき、更なるご支援賜れるよう努めて参ります。



一般財団法人つわの学びみらい
みやもと よしゆき
代表理事 宮本善行

課題を見抜く力

大人になっても
自ら学び続けるひと

行動する力
創造する力

対話する力

「0歳児からのひとづくり プログラム」とは

津和野町教育ビジョンの基本理念に基づき、0歳児から教育的視点を持った各種施策を行うとともに、保育施設・小学校・中学校・高等学校の校種の壁を超え、系統性のある教育体制の構築を図ることを目的に町が策定したものです。教育委員会や保育士、学校教員、教育魅力化コーディネーター等様々な関係者が関わって作成されました。津和野町の未来を担う人材像として掲げている「大人になっても自ら学び続ける」ひとづくりに、まち全体で取り組んでいます。

町の教育魅力化の流れ

平成25年度	高校魅力化コーディネーター配置
平成26年度	町営英語塾「HAN-KOH」開塾
平成29年度	「0歳児からのひとづくりプログラム」策定
平成30年度	小中学校へ教育魅力化コーディネーター配置
令和2年度	保小連携コーディネーター・幼児教育コーディネーター配置
	津和野町100%出資により「一般財団法人つわの学びみらい」設立



令和5年度の活動報告



町営英語塾HAN-KOH 自ら学び、 自らの可能性を広げる

子どもたちの「自ら学ぶ力」を育てるため、英語を軸とした活動を展開しています。町内の中高生は無料で通えます。生徒の学習支援はもちろん、英検や留学のサポート、生徒の居場所づくり、外国の文化に触れられるイベントなども開催しています。中学校での英語の授業でのサポートや、小学生向けの英語講座なども行っています。



教育魅力化コーディネーター 0歳児からのひとづくり

教育魅力化コーディネーターは、学校と地域との関わりをつくる活動をしています。そして、保育園や学校といった校種を超えたつながりを創出することで、既存の教育現場に新たな視点・価値をもたらし、変化を促してきました。行政の関係部局をはじめ、町内保育園、小・中・高校と協力・協働し、「0歳児からのひとづくりプログラム」における「たての連携」を貫く役割を担っています。



まちづくり 学びの場を軸とした まちづくりに挑戦

「まち全体が学びの場」となるよう、各学校だけでなく、自治体や関係機関はもちろんのこと、企業や団体、大学など多様な組織・人と関わり協働することで、かけ算のように学びの機会を増やすことを目指しています。この仕組み=コンソーシアムの構築を通して、教育が津和野町における新たな経済・地域活動の発展及び活性化につながることに挑戦しています。



まちづくり イワミ・アート・ラボラトリー 2年目のプログラム 『ウタは「境界」を超える』

津和野町出身の画家・安野光雅の「あの山のむこうを想像する」という言葉に着想を得て、「あなた」という存在について想像を膨らませる内容を企画しました。お互いに面識のない津和野町の中学生が2つの会場に分かれ、お互いの存在を知らぬまま「あの山のむこう(にある存在)」をアーティストと共に想像し、5・7・5・7・7のウタをつくりました。それらのウタは生徒たちの間にあるとされる“境界”を越えてお互いに届きました。生徒たちはウタをつくることで、想像することがいかに難しく、そして大切なことであるかについて理解し、実感を持ちました。



寄り道バザール/
農家兼僧侶
なかむらみょうちん
中村明珍さん

子どもも大人も一緒に「未知」に飛び込む取り組みに可能性を感じました。



おとな つわの学びサポーターズ 活動報告会を開催!

津和野町のひとづくり、そしてまちづくりを継続的に応援してくれる仲間(サポーター)＝「つわの学びサポーターズ」です。11月と3月に実施したオンライン活動報告会では、子どもたちやまちの“いま”を現場のコーディネーターからお伝えし、サポーターのみなさんとの意見交換を行いました。子どもたちやまちの未来についてざっくばらんに話し、サポーター同士の交流も生まれるなど、とても前向きで和やかな会となりました。今後も、ワクワク



光明寺 住職
ほんだ ゆきなお
本田行尚さん

“地域(津和野)の人”のひとりとして「一緒に感じ、一緒に考え、一緒に学ぶ。」そんなご縁に感謝しています!

するような未来の話をサポーターのみなさんと一緒にしていきたいと思います。



津和野高校 大学とも連携した探究活動を通して将来を模索

総合的な探究の時間では、1年生の時に地域の方が講師となるブリコラージュゼミや、地域のおとなと対話するトークフォークダンスを体験し、2年生で取り組む探究活動につながりました。今年度スタートした「探究コース」(2年生)では、島根県立大学や山口大学の先生にアドバイスをいただくことで、新しい視点への気づきを得ています。生徒一人ひとりが様々な出会いや経験から自身の興味関心事を見つけ、深掘りすることで自身のキャリアにつなげています。

R5年度入学者実績
R6年度入学者予定者数
※定員は80名

津和野高校生 まつうら さん 松浦幸奈さん

探究する楽しさを知ったことで、やりたいと思ったことを進んでできるようになりました。手厚くサポートしてくれるので、自分の興味を深めてやりたいことに挑戦できています。



暮らし 地域に根差した暮らしを まちの人と。



どこいこ津和野



川丁地区在住
いしあつこ
登石敦子さん

交流会の後「犬の散歩をさせてくれませんか?」と高校生が電話をかけてきてくれました。学校帰りにお話することも増え、とても楽しいです。

津和野町交流センターひまわり
R5年度入居者数 16名
(令和5年5月末時点/定員16名)



新寮完成!

R6年4月、鷺原に100名入居可能な寮が完成しました!



HAN-KOH 学習も リラックスも できる居場所

中学生対象に学校の英語の授業の定着を目指した反復学習を実施しています。また、1・2年生を対象に開講している数学講座では、計算力や数的読解力の向上を目指しています。生徒が集中して勉強できる環境や、リラックスしてくつろげる居場所としての役割も担っています。

自分のペースで勉強でき、休けい時間はしっかりリラックスできる場所です。

日原中学生
つのもり ゆうか
津野守優香さん



町営英語塾HAN-KOH
英語実用技能検定(通称:英検)
R5年度の合格実績
中学生 準2級:1名/3級:5名/
4級:3名/5級:1名
高校生 準1級:1名/2級:1名/
準2級:3名/3級:2名

会話に特化した様々なフレーズを学んでいるので、来年は外国の方とたくさん話してみたいです!

津和野高校生
ふじむら こうだい
藤村晃大さん



HAN-KOH もっと英語を好きに! 学校や地域と連携した 取り組みを展開

放課後子ども教室では、月1回のペースで“イングリッシュ”“竹飯盒作り”“体づくり運動”などを実施しました。“イングリッシュ”では、英語に楽しく触れてもらうことを目的に、ゲームや歌なども取り入れています。また、各公民館と連携した「中学英語先取り講座」も展開し、中学生になった時に英語がもっと好きになるよう取り組んでいます。

放課後子ども教室「あゆっこワクワク広場」では、地域総ぐるみで様々な体験活動を行い、みんなで考えたり、発見したり、やってみようと思ったりする好奇心を育てています!

日原中央公民館
なかの ちあき
中野千秋さん



保育園～小学校 子どもも大人も つながる、 保育園と小学校の 架け橋事業

文科省事業「幼保小の架け橋プログラム調査研究事業」の2年目を実施しました。津和野町の保育園と小学校の連携事業としては4年目となるR5年度は、育てたい子ども像を「好奇心から始まり、対話と協働を通して自己実現がはかれる子」とし、モデル地域の日原地区にて5歳児と小学1年生による共同実践を4回行いました。異なる校種の大人が立場を越えて、子どもたちにとっての最適な環境とは何かを模索しながら、町内全地域での持続可能なプログラムの実施に向けて取り組んでいます。



青原保育園
ささき
佐々木かおり先生

幼児期の育ちと架け橋期の重要性を保育園と小学校と一緒に考え、学び合いながら再認識できとてもよかったです。課題も見え、よりよい連携と接続に対する意識が高まりました。

子どもたちから生まれる「?」や「やってみよう!」をより意識し大切にすることで、子どもたち発信のおもしろそうな出来事が増えてきたと感じます。実践では、保育園の先生方とも思いやスタンスを共有できたことで一体感が育まれ、心強い存在となっています。

日原小学校
おおば ゆきこ
大場由紀子先生



中学校

さまざまな出会いを通じて、自分の生き方やあり方を考える

職場体験、大学訪問、大人・小学生・高校生との対話などの活動を通して、自分がどう生きていきたいかを考える機会をつくりました。次年度は、津和野中学校と日原中学校が合同で行うプログラムの実施を予定しています。さらに多様なひと・もの・こととの出会いと学びの場を創出していきます。

津和野中学校
おおば あきこ
大庭亜希子先生

異年齢の人や大人と話すことが、生き方・考え方が広がっていく機会になっています。そして話す方も聞く方も、生き生きしていると感じます。



つわの×学び= Chance 学び×みらい= Challenge みらい×つわの= Change

津和野のまちに起こっているたくさんの変化。
少しずつ、でも確実に「学びの場」はまち全体に広がっています。

"HAN-KOH日原教室" プロジェクト活動の拠点にも。

HAN-KOH日原教室は、中高生の学習場所としてはもちろん、リラックスできる居場所、そしてプロジェクト活動の拠点としても活用されています。中学時代からHAN-KOH日原教室を利用していた久城さんと永見さんは、町外の高校に進学後、地元である青原地区を盛り上げたいとの思いから"チームあおはらっこ"を立ち上げ、夏にはサバイバルゲームを用いたイベントを青原公民館、青原地域まちづくり委員会とともに開催しました。講師によるサポートや、準備・相談場所としても活用されたHAN-KOH日原教室。地域の中高生の「やってみたい」を叶える拠点として、ぜひご活用ください!

HAN-KOHでの活動を通して、子どもだけでは難しいことも大人の方の力を借りれば乗り越えることができるということを実感しました!

青原出身／益田高校生
くしろ はるか
久城 春歌さん

HAN-KOHで「やりたい」と言えば何でも手伝ってくれます!大人の力を借りれたことで僕たちの第一歩を踏み出せました!

青原出身／益田翔陽高校生
ながみ しょうき
永見 翔輝さん

町内外のネットワークを活用して 高校生のキャリアを応援!

教育魅力化コーディネーターが高校の先生とともに取り組んできた津和野高校生のキャリアサポート。今年度は、つわの学びみらいのネットワークを活用した外部人材によるサポートも積極的に行ってきました。小論文の添削やプレゼンテーション資料作成等の伴走に加え、1,2年生のプロジェクト支援としてオンラインも活用しながら個別相談なども実施。より多くの人と関わることで、個々の学びが深まったり、広がったりするような環境を整えています。

津和野町内外の方々のサポートのおかげで、入学当初の「やったことのないことにチャレンジしてみる」という目標に向けて努力することができました。

津和野高校令和5年度卒業生
かわせ
川瀬 ありささん



大好きな津和野町に恩返し。 「なんでもお手伝いします!」

埼玉県から地域みらい留学で津和野高校にきた濱野怜央さん。3年生の寮生の多くが3学期は地元へ帰る中、卒業式まで津和野に残り「なんでもOK!お手伝いします」というボードを背負ってまちを歩き、除雪やゴミ拾いなどのお手伝いをしていました。3年間津和野町で生活する中で、たくさんのまちの人に支えてもらった恩返しをしたいとの思いで始めたそうです。そして今後、県外からツコウに来る後輩たちが、地域で活動する時に、少しでもまちの人との距離が近くなるようにとの願いが込められています。

まちの人と関わる中で、どんなことでも自分の知識や経験になり、成長に繋がるということを知りました。将来は津和野に戻ってきて、まちの人の助けになるような仕事につきたいと思っています!

津和野高校令和5年度卒業生
はまの れお
濱野 怜央さん



目指せ30名!

❖ つわの学びサポーターズ募集中です! ❖

つわの学びサポーターズは、津和野町のひとづくり、そしてまちづくりを応援してくれる仲間(サポーター)のことです。津和野町で学び、成長する子どもたちが語る大きな"夢"を叶えるための「はじめの一步」を応援しませんか? 毎月一定額(500円~)を継続的にご寄付いただき、津和野町の子どもたちが地域に出て学ぶ際など、私たちの活動に活用させていただきます。R5年度にスタートし、現在9名(R6.2月末時点)がつわの学びサポーターズとして応援してくださっています。

サポーターズ限定の活動報告会や意見交換会など、みなさんとの交流を通して一緒にワクワクする未来をつくっていききたいと思います! 詳しくは右記の😊QRコードよりご覧ください。



一般財団法人つわの学びみらい

〒699-5605 島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3

TEL: 0856-72-1506

E-mail: info@tsuwano-mm.org

